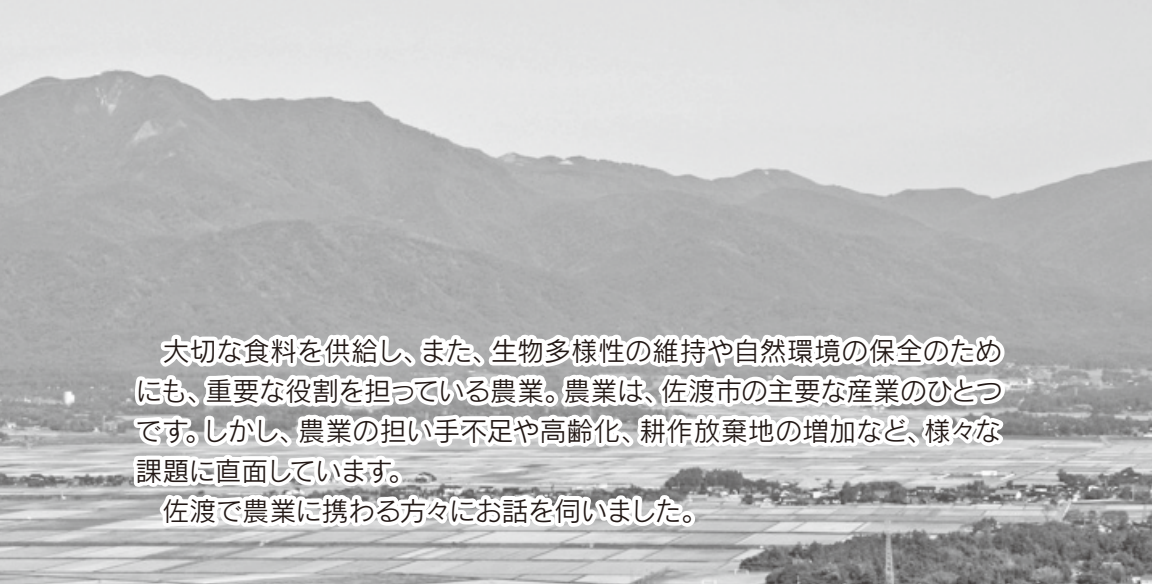


日本初の認定  
**ジラス**  
世界農業遺産  
③

# 農業とともに歩む

## これからの佐渡を支える「農」のチカラ



大切な食料を供給し、また、生物多様性の維持や自然環境の保全のためにも、重要な役割を担っている農業。農業は、佐渡市の主要な産業のひとつです。しかし、農業の担い手不足や高齢化、耕作放棄地の増加など、様々な課題に直面しています。

佐渡で農業に携わる方々にお話を伺いました。



（財）羽茂農業振興公社で、今年の春から柿栽培を学んでいる研修生にお話を伺いました。これまで、剪定後の枝の片付けや、摘蕾、防除などを行い、収穫を迎えました。  
（摘蕾は、柿のつぼみをつみ取ること、果実の数を制限し、果実により多くの栄養がいき届くようにすることで、果実が大きく、おいしくなります）



将来、柿で就農したいと思って研修生になりました。研修してみても、柿が実際に実ったということ、がうれしいです。農業は普通のサラリーマンと違って腕一本でやっていかなければならないし、天候に左右される部分もありますが、自分が頑張っただけの結果が出るので、おもしろいです。

金子靖隆さん（小木）



将来は農業を継ぐと思いますが、もっといいものをつくるために、今は勉強中です。

高野陽二さん（羽茂）



家に柿は数本しかないのですが、柿のこともっと知りたかったというのが研修のきっかけです。収穫を迎えて、摘蕾をしつかりすれば良かったなどと反省しています。摘蕾がちゃんとできたところは、いい柿になりました。手を掛けたところとそうでないところは、柿の出来が全然違います。柿が応えてくれるんですね。

長林保二さん（羽茂）